

第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 神奈川県予選会  
競技上の注意

神奈川県小学生バレーボール連盟  
競技委員長 芦澤 治

- 12月15日の開会式(各会場)には全員出席のこと。連絡無く集合時間にいない場合は、棄権とみなす。  
開会式には、各団とも団旗、チームプラカード、得点表示チームプレートを用意すること。
- 本大会は、2018年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。  
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。  
なお、コートの大さは、8m×16m・サービスゾーンは8m・フロントゾーンの幅は2.7m  
ネットの高さは、男女とも2mとする。
- 競技方法は男女ともトーナメント方式を用いる。
- 試合は3セットマッチ追い込み方式とする。  
連続する場合は、最大15分の休憩をとるが状況により競技委員長と審判委員長が協議して決定する。  
また、大会運営上、試合順やコートが変更することもあり得る。
- チームの構成員は、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー・各1と選手12名の計16名以内とする。
- 試合前の公式練習は、有効な構成員(登録された引率責任者・監督・コーチ・マネージャーと選手12名)で行う。
- 監督・コーチ・マネージャーは胸章を必ず左胸につけること。  
監督・コーチ・マネージャーの内1名以上は成人であること。  
監督・コーチ・マネージャーの1名以上は公益財団法人日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者講習会(全国小学生バレーボール指導者講習会)の受講証を所持しているか、日体協認定の指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチのいずれかの資格を有し、ともに証明書を試合時に胸から下げていなければならない。  
※大会当日、受講証、証明書を所持している人が当日会場にいない場合は没収試合となる。
- 引率責任者・監督・コーチ・マネージャーは必ず襟付きのシャツとスラックスを着用すること。  
(半ズボン・Tシャツは不可。また、同じ色彩であること。スーツ・ネクタイ着用は許可する。  
ただし、原則としてジャケットは脱いではいけない)
- 引率責任者は、ゲーム中もベンチに入ることはできるが、試合への介入はできない。
- エントリーの変更は開会式前までに提出する。(変更は、スタッフのみ。選手は申込時に12人に満たない場合の追加ができる。)
- 選手のユニフォーム・ソックスは必ず、同じ色・形のを着用すること。  
ただし、特別な理由がある場合は許可する場合がある。必ず事前に競技委員長の許可を得ること。  
※開会式にはスポーツ少年団登録章を貼り付けたものを着用することが望ましい
- ベンチには、必要なもの・飲料水(専用ボトル:ストローの付いたものやふたのできる吸い口のある容器・ペットボトルは不可)・タオル・救急用具以外のものは持ち込まないこと。  
応援用のものは持ち込み不可。
- 試合中にコートが汗で濡れた場合は、コートにいる選手が速やかに拭く。なお、タイムアウトおよび、セット間の中断時にコート上をモップがけするようにする。
- 本大会の女子優勝チームは、全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に推薦する。
- 鳴り物(太鼓、ラッパ、ペットボトル等)を使った応援は、認めない。
- 引率指導者または監督は、日本スポーツ少年団認定員または育成員であること。(今回、指導者が資格を持っていないチームも教育的配慮として今年度中に資格を取る条件付きで参加を認める。)